

2026 年 7 月 28 日
出光興産株式会社

特許庁長官との意見交換（トップ懇）の実施について

知的資産を活用した企業価値向上について意見交換

当社は、2026 年 6 月 29 日に特許庁の河西康之長官をはじめとする 7 名をお招きし、企業経営における知的資産の活用や知財戦略をテーマに意見交換を行いました。当社からは社長の酒井則明のほか、役員を含む関係者が出席しました。当日は意見交換のほか、[次世代技術研究所](#)で固体電解質（全固体電池材料）や宇宙用 CIGS 太陽電池の研究開発の現場を見学いただくとともに、当社より技術開発と知的資産創出・活用に向けた取り組みを説明しました。



意見交換の様子

（左から、出光興産：執行役員 小林、常務執行役員 三品、エグゼクティブ・フェロー 中本、代表取締役社長 酒井
特許庁：河西長官、吉澤総務部長、柳澤企画調査課長、福村特許戦略企画調整官）

今回のトップ懇では、企業経営における知的資産の位置づけ、経営戦略と連動した知的資産の活用による企業価値の向上や競争力強化などについて議論しました。

当社は、[中期経営計画\(2026-2030 年度\)](#)において、特許に限らず、技術、ノウハウ、人財が有する知見といった知的資産全体を重要な経営資源と位置付けています。知的資産の「守り」と「攻め」を両立させることを基本方針とし、知財リスクマネジメントの強化、多様な知財戦略の実践、それらを支える組織・業務・人財の変革を推進します。また、これらの取り組みを中期経営計画で掲げるイノベーション戦略と連動させ、社内外のパートナーとの共創を通じて、持続的な成長と社会課題の解決につなげていきます。今回の意見交換で得られた示唆も踏まえ、本方針に基づく取り組みを着実に進めます。



次世代技術研究所での見学の様子

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html